教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１４８
令和２年１０月２８日発行
今金町教育委員会の会

晩秋に

国から発出される様々な文書の枕詞に「予測不能な変化の激しい時代」という文言があります。AIの発達や気候変動などを踏まえたものと押さえておりましたが、昨年末からの世界規模での新型コロナ感染症の蔓延で、“予測不能”の言葉が一気に現実感を増したように感じておりました。

しかし、人間はこれに、これまでの経験を踏まえて立ち向かい、克服していくしかありません。データという、人間が創り上げてきた大量の知識や経験を人間より高速で活用していくAI・人工知能も同じ思考を巡らすのではないでしょうか。

今必要なことは希望です。何とかできるという雰囲気、EQや感性です。それは決して楽観でなく、結果に裏付けられた楽天的な雰囲気です。それはすごく厳しく、そして穏やかな自信なのだろうと思っています。

令和３年度の教育行政執行方針を書き始める時期となります。キーワードは『元気』かな。
今金町はイベントを再開してきました。９月２日のSORAコンサート、そして町民文化祭へ。
「町民が聴く・観る」から、「町民が演じ、町民が聴く・観る」へ。
みんなで乗り越えましょう！
そして、何年か経って「そういう時代があったね」と振り返られる日を。
考え得る、納得できる、その時点での万全の準備を続けていく日々です。



教育委員リレーエッセイ

『無駄な時間？』

今金町教育委員　　永井　章



原稿を依頼されて何を書こうか考えています。
しかし、何も頭に浮かばない。何を書けばいいのかな～、こまったな～
何も出来ずに時間だけがどんどん進んでいく、3日、1週間、10日と・・・
これは、無駄な時間なんだろうか？
何も出来ないということは、やはり「無駄」ではないだろうか？
そうだ！では「無駄」ってどういう意味か調べてみよう！
無駄の「駄」という字は馬の背に物を背負わせる。馬に乗せる荷物。という意味でした。
「無駄」とは馬に乗せる荷物が無いことであります。
今風に表現すると、トラックに積む荷物が無く運転して仕事をすることでしょうか。
なるほどこれは、「ムダ」と思いますね。ムダ無く効率よく仕事して生産性を上げる。
このようなことが継続して出来るといいなぁ～と思いますよね。
でも、出来ない時もありますね。たまにはこんな無駄な時間があってもいいのかなって、
無駄な時間をちょっぴり過ごして、次に向かってガンバっていこう！と今思っています。